



レボリューション2の臨床応用法

日常の歯科臨床において、レジン修復は多くの歯科医にとって切り離す事のできない治療のオプションである。

その中でも充填が容易なフロアブルタイプのレジンには、最近の傾向として、流動性が少なくファイラーの含有率が高い、形態の付与が容易なタイプが各社より発売され、フロアブルタイプのレジンが発売された当初とはかなり様変わりしている。

そんな中、レボリューション2を使用して既に6年経過するが、私にとって現在も無くてはならない材料のひとつである。

毎年、フロアブルタイプの新製品が各メーカーから発売されると、その度にレボリューション2を超えるフロアブルレジンが無いか試すが、「流動性と審美性」において勝るフロアブルレジンが見つからない。

一般的に流動性が高い(低粘性)コンポジットレジンには、細く、狭く、小さな窩洞に効果を発揮する。

勿論、この製品も、コンポジット充填時の小さな補修填入、追加が容易で審美的にも優れている。

これ以外に、現在、レボリューション2を全てのレジン充填の積層充填材として使用している。

その方法として、窩洞が2 mm以内の場合は、先ず窩洞に極少量(この量に注意)を流し込んだ後に「光重合をさせないで」ペーストタイプのコンポジットレジンで積層充填すると、窩洞の気泡がこのレジンによって充填され、余剰のレボリューション2がレジン上に浮き上がってくる。

その結果として、軟度の高いペーストタイプのコンポジットレジンも充填時に充填器にまとわりつかずに充填が可能で、また硬度のあるペーストタイプのコンポジットレジンには、審美性があるフロアブルレジンが表層に浮き上がってくることで、滑沢な表面のある充填に仕上げることも可能となる。

また、他の使用例として、少量を充填器に付けて使用することで、アルコーンやボンディング材を付けて操作するより、材料の劣化を防止し、審美的な修復が可能となる。



01 プレミスのクリアー(左)・レボリューション2(右)



02 術前



03 セメント除去後深在性カリエスが認められる



04 レーザーによる歯肉の処置



05 カリエスティテクターによる染出し後の状態
(カリエス除去終了)



06 充填処置直前の状態



07 レボリューション2を少量注入した状態



08 プレミスクリアを表層に充填・研磨し完成した状態